

歯科衛生士による 歯の健康のためのミニ講座 【その1 の巻】

お母さんに知って欲しい・・・むし歯菌についての基礎知識

むし歯菌ってどこからやってくるの？

むし歯菌はどこからやってきて、口の中に住みつくのでしょうか？

生まれたばかりの赤ちゃんのお口の中には、実はむし歯菌はいません。しかし、その後赤ちゃんが3歳になると約40%の子供にむし歯ができていているというデータがあります。むし歯菌に感染していても必ずむし歯になるとは限りませんから、実際にはもっと感染している率は高いことになりますね。

ではいつ、どのようにしてむし歯菌が住みついてしまうのでしょうか？

むし歯菌は移る（感染する）！？

むし歯菌は、周囲の大人や子供から唾液を介して移ることが多いといわれています。特に接触回数が多いお母さんから移るケースが多い様です。

また感染の時期は前から数えて5番目の第2乳臼歯がはえる生後2歳以降に多いとの調査があります。

むし歯菌を赤ちゃんに移さないために・・・

この様にむし歯菌は基本的に唾液を介して感染するのですが、では、むし歯菌を移さないためには、どんな事に気をつければいいのでしょうか？

感染を完全に防ぐ事は難しいですが、いくつか注意して欲しいことがあります。



親や周りの人が気をつける事として・・・

- ① 口移して食べ物を食べさせないようにする
- ② 使用したスプーンやフォークは使い回さないようにしましょう
- ③ 周りの人たちがしっかりと歯みがきをすること
プラークとむし歯菌が少ない状態の唾液からは感染とむし歯菌の定着は少ないと考えられます。
子供に関わる周囲の大人や子供がしっかりと歯みがきを行い、プラークが少なく、むし歯菌が少ない状態にしておくことは赤ちゃんや乳幼児へのむし歯菌の感染を防ぐためにとても重要なことなのです。
- ④ むし歯の治療をしておく
むし歯の中はむし歯菌でいっぱいですから、むし歯の治療は重要です。



これらのことは、むし歯菌の感染予防の上も重要なことですが、小さなお子様とのスキンシップやコミュニケーションもとても大切です。たとえむし歯菌に感染したとしても、必ずむし歯になるとは限りませんし、その後の予防をしっかりとすることでかなり効果的にむし歯を予防することも可能です。

むし歯菌やその感染を過剰に怖がることはありません。自らのお口や歯を健康で清潔にして、積極的に愛情を持って接してあげてくださいね (^_^)

是非、かわいいお子さんに”むし歯のない人生”をプレゼントしてください♪

